

日医発第 387 号(健Ⅱ)

令和 5 年 5 月 22 日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菴 敏

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

今般、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部(局)宛標記事務連絡がなされ、本会に対しても周知方依頼がありました。

本事務連絡は、マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になることを踏まえ、ダニ媒介感染症の予防対策に関するポスター等を連絡するものです。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

また、マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業(山菜採りや狩猟等)は、ダニに咬まれるリスクが高まります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、郡市区医師会及び関係医療機関に対する周知方、ご高配のほどお願い申し上げます。

記

【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター掲載 URL】

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

【照会先】

厚生労働省健康局結核感染症課 動物由来感染症指導係 電話：
03-5253-1111 (内線 2387/2376)

事務連絡
令和5年5月22日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）

平素より、感染症対策の推進につきまして、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）は、ダニに咬まれるリスクが高まります。

厚生労働省では、ダニ媒介感染症の予防対策について、ポスター等を用いた周知・啓発を実施しているところです。

マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になることを踏まえ、貴会会員への周知につきまして、御配慮の程よろしく申し上げます。

なお、以下の厚生労働省のウェブサイトからポスターをダウンロードして、ご活用いただくことも可能です。

また、同様の事務連絡を都道府県等に発出しておりますことを申し添えます。

【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター】

掲載 URL：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

事務連絡
令和5年5月9日

各

| |
|--------|
| 都道府県 |
| 保健所設置市 |
| 特別区 |

 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）

日頃より感染症対策に御協力いただきましてありがとうございます。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）は、ダニに咬まれるリスクが高まります。

厚生労働省では、ダニ媒介感染症の予防対策について、ポスター等を用いた周知・啓発を実施しているところです。

マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になることを踏まえ、保健所、管内市町村、関係機関、関係団体等に対する、ダニ媒介感染症の予防対策についての周知・啓発に、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、以下の厚生労働省のウェブサイトからポスターをダウンロードして、ご活用いただくことも可能です。

【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター】

掲載 URL : <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

【照会先】

健康局結核感染症課

動物由来感染症指導係

電話：03-5253-1111（内 2387/2376）

今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!!

蚊

草むらに入るときは
注意しよう!

肌の露出を
減らそう!

虫よけ剤を
使おう!

ペットの
虫よけも
万全に!

蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

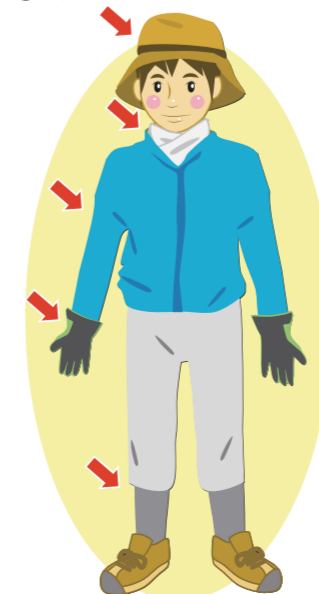
蚊・ダニに咬まれないポイント

蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考してください。

山あり ダニあり 山あり ダニあり

ダニが媒介する感染症から身を守るために

畑での農作業

茂みでの草刈り

山の中で山菜採りや

狩猟をするとき

ダニがあなたを狙っている。

（出演）
ダニ 田畑 羽衣
草刈 山狩
田畑 山菜
羽衣 山菜



フルカラー
総天然色

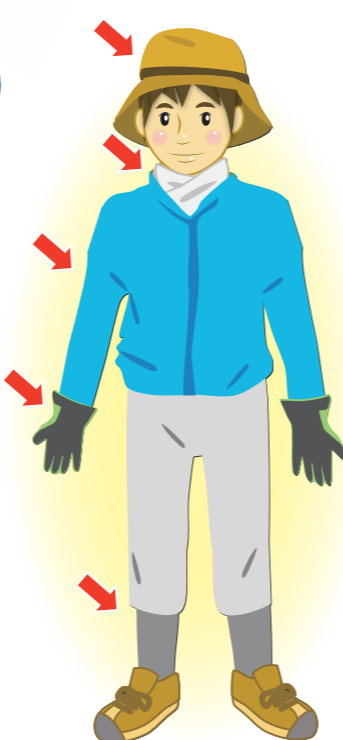
KORO FILM

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

ダニに咬まれないポイント

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
 - 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - 足を完全に覆う靴を履く（サンダルなどは避ける）
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意しましょう。



ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師に伝えること

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症 厚生労働省

※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。



「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

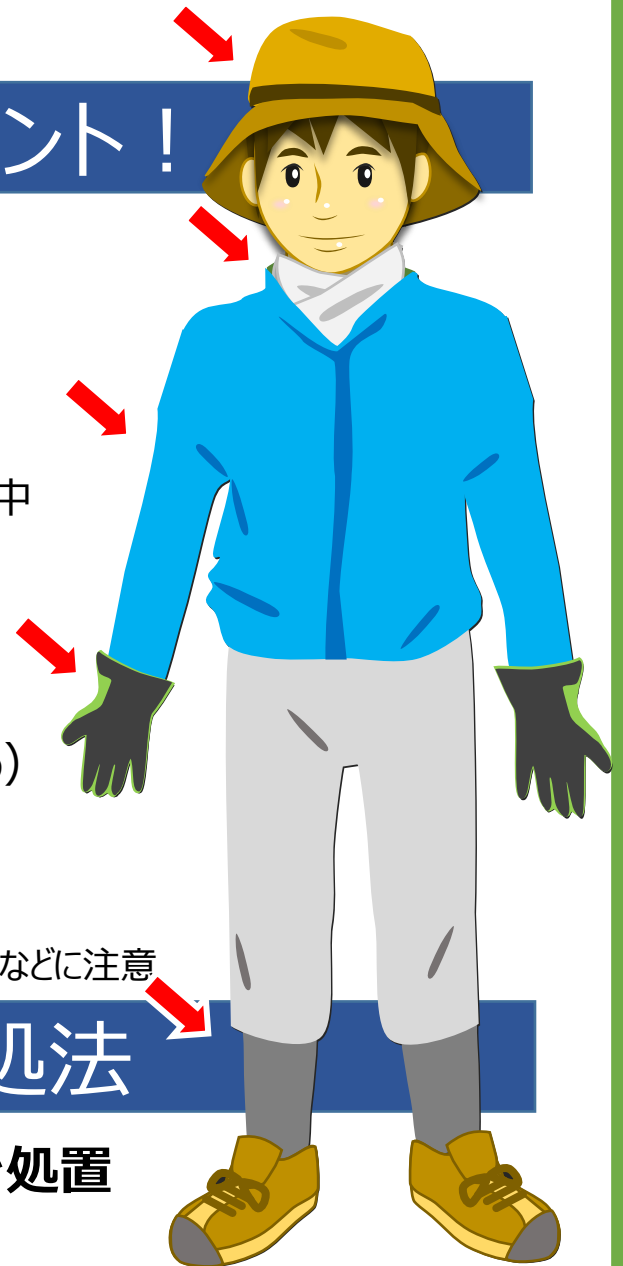
⇒サンダル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



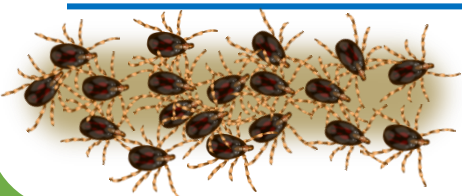
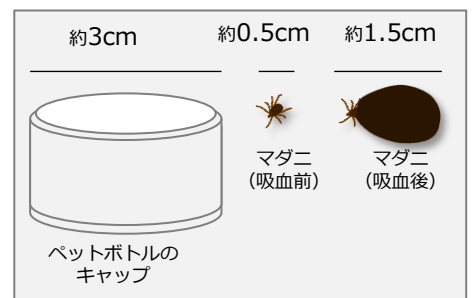
ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

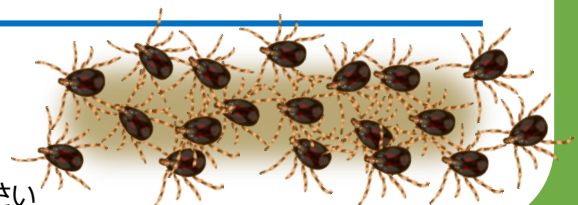
【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください



マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果
5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴



参考資料

- 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症
- 2) マダニ媒介SFTSとは
- 3) マダニの生活環

Kana S. Illustrations
衛生昆虫写真館 Photos

マダニ対策に関するお問い合わせ

国立感染症研究所昆虫医科学部

Tel: 03-5285-1111 (代表)

Fax: 03-5285-1178

e-mail: info@nih.go.jp

SFTS対策全般に関するお問い合わせ

国立感染症研究所

Tel: 03-5285-1111(代表)

厚生労働省健康局結核感染症課

Tel: 03-5253-1111(代表)

1. マダニの生息場所

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



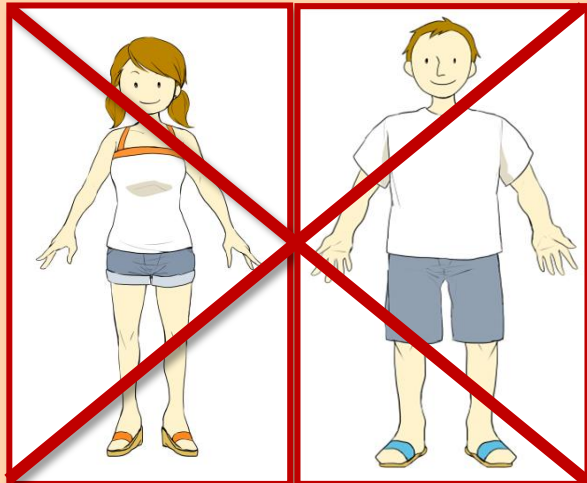
マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。



2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

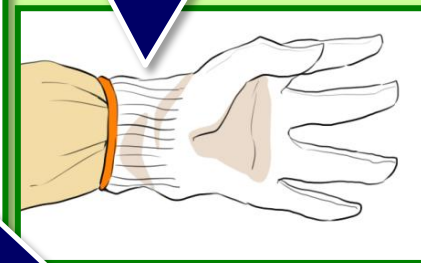


半ズボンやサンダル履きは不適當です！

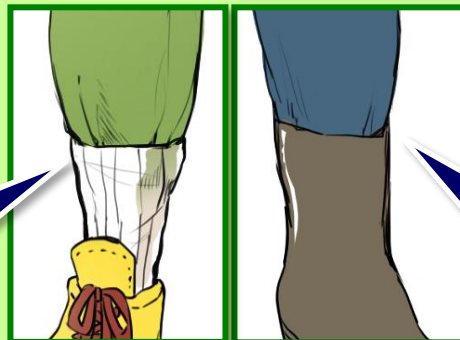
ハイキングなどで山林に入る場合は、ズボンの裾に靴下を被せましょう。



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



農作業や草刈などではズボンの裾は長靴の中に入れてみましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、
家の中に持ち込まない
ようにしましょう。



屋外活動後は、
シャワーや入浴で、
ダニが付いていないか
チェックしましょう。



ガムテープ
を使って服に
付いたダニを
取り除く方法
も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤

(虫よけ剤) が、2013年から

新たに認可されました。

現在は、ディート、イカリジンの

2種類の有効成分の忌避剤が市販

されています。

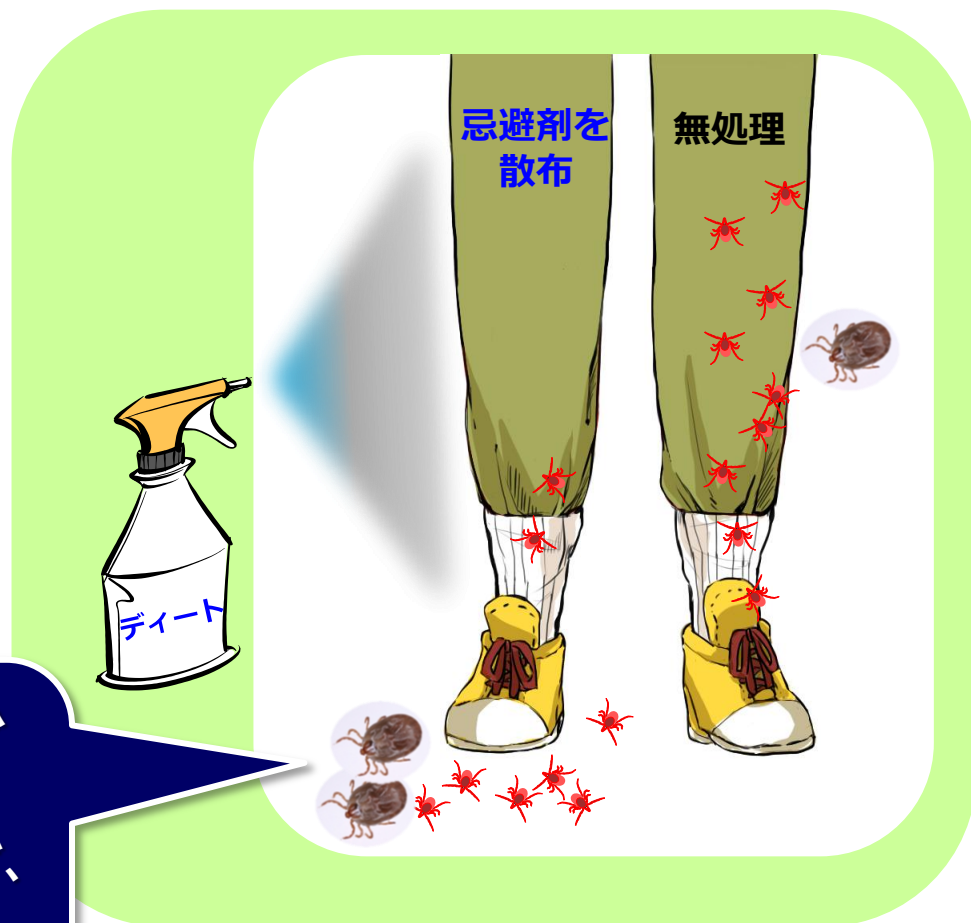
忌避剤の使用でマダニの付着数は減少

しますが、マダニの付着を完全に防ぐ

わけではありません。忌避剤を過信せず、

様々な防護手段と組み合わせて対策

を取ってください。

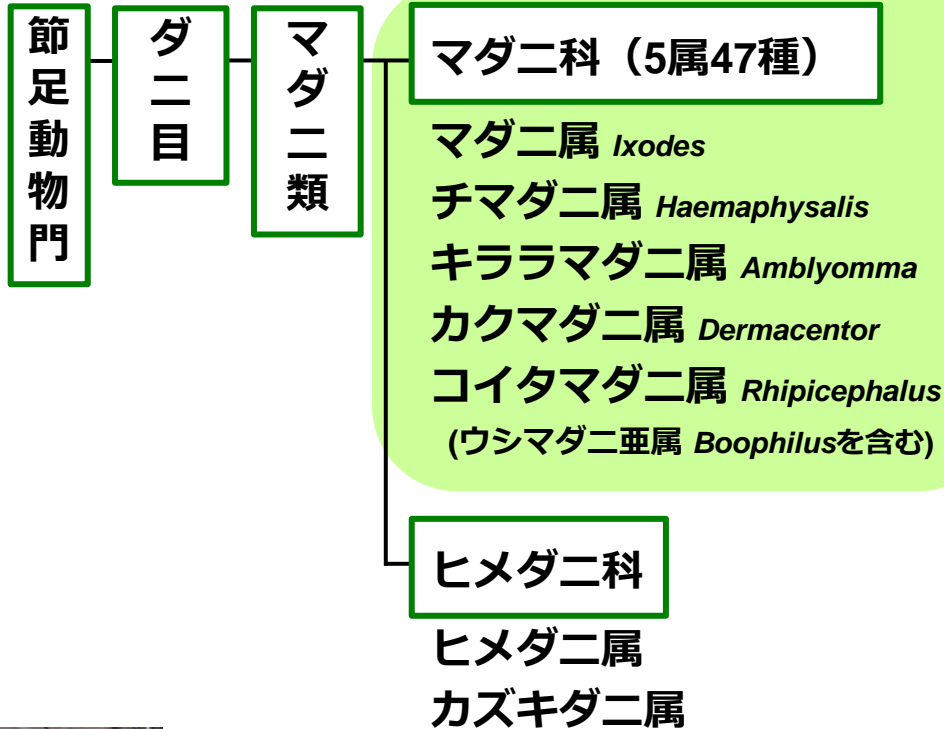


5. 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

| 忌避剤 | 有効成分含有率 | 分類 | 効力持続時間 | 注意事項 | 特徴 |
|-------|--------------|--------------|--------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ディート | 5~10% | 防除用 医薬部外品 | 1~2時間 | 6ヶ月未満 児には使用 禁止 | <ul style="list-style-type: none"> ・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある |
| | 12% | 防除用 医薬品 | 約3時間 | | |
| | 高濃度製剤 30% | 防除用 医薬品 | 約6時間 | 12歳未満は 使用禁止 | |
| イカリジン | 5% | 防除用 医薬部外品 | ~6時間 | | |
| | 高濃度製剤 15% | 防除用 医薬品 | 6~8時間 | | |

参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

マダニは、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。



マダニが媒介する感染症

() 内は病原体の種類

日本紅斑熱 (リケッチア)

Q熱 (リケッチア)

ライム病 (スピロヘータ)

ボレリア症 (細菌)

野兔病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS

(フレボウイルス)

ダニ媒介性脳炎 (フラビウイルス)

キャサヌル森林病 (フラビウイルス)

クリミア・コンゴ出血熱

(ナイロウイルス)

..... など

参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

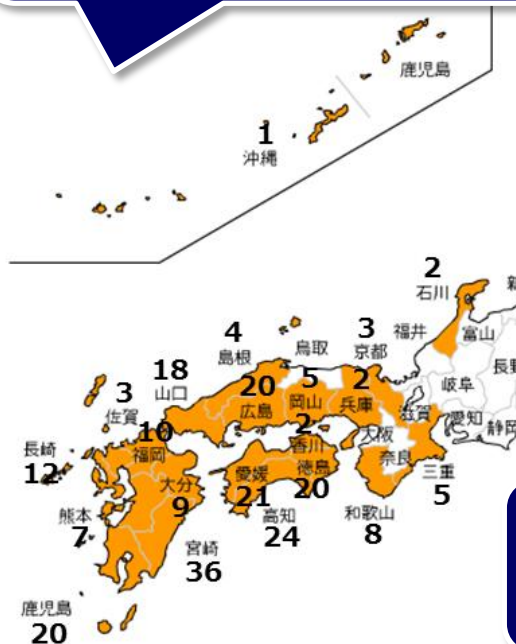
重症熱性血小板減少症候群 (Sever fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)

これまでに、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**フタトゲチマダニ**と**オウシマダニ**からウイルスが見つっています。



ウイルスの潜伏期間は (マダニに咬まれてから) **6日~2週間**とされています。

2016年は、西日本を中心とした21府県から届出されています。()内は発症数



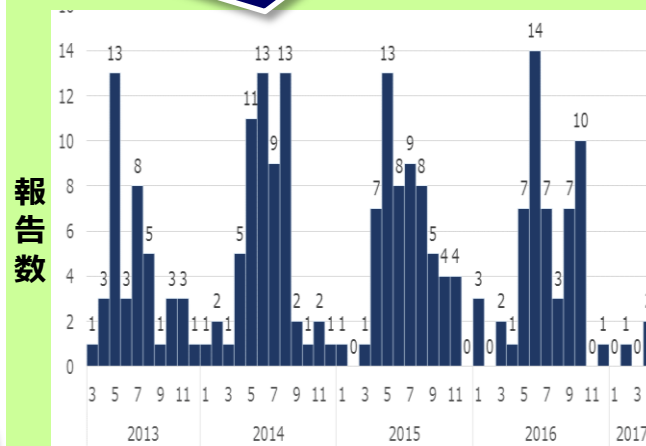
SFTS患者報告基本情報

| | | |
|----|------|------|
| 合計 | | 232名 |
| 性別 | 男 | 111 |
| | 女 | 121 |
| 年齢 | 中央値 | 73歳 |
| | ~20代 | 2 |
| | 30代 | 4 |
| | 40代 | 4 |
| | 50代 | 15 |
| | 60代 | 66 |
| | 70代 | 65 |
| | 80代 | 70 |
| | 90代 | 36 |

(2017年4月26日 現在)

2013年1月1日以降に報告された患者 (合計232名) です。

SFTS患者は**5~8月に**多く発症しています。

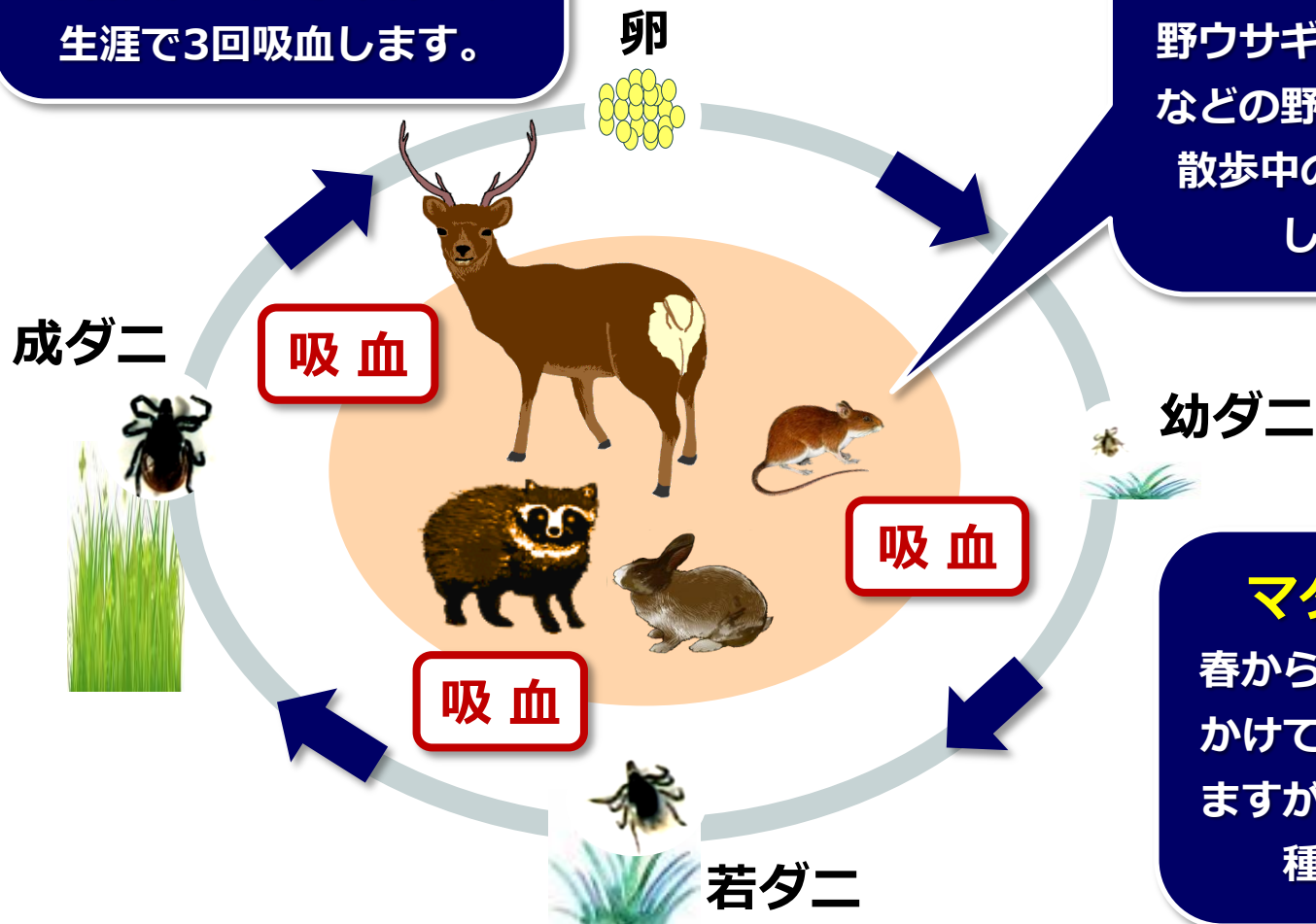


患者発症月

資料は、国立感染症研究所ホームページ：
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/sfts.html>を引用

参考資料 3) マダニの生活環

マダニは、
幼ダニ、若ダニ、成ダニ
の各ステージで1回ずつ、
生涯で3回吸血します。



マダニは、
ヒト以外に、野ネズミ、
野ウサギ、シカ、イノシシ
などの野生動物や、ネコ、
散歩中のイヌなども吸血
しています。

マダニの多くは、
春から秋（3～11月）に
かけて活動が活発になり
ますが、冬季も活動する
種類もいます。